

みんな なかよく たくましく

令和7年11月5日

校長室だより No.23

心を一つに 歌声響く

合唱部壮行会

昨日の全校集会で、合唱部の壮行会を行いました。私はマイクで話したように、合唱部の皆さんの一つにまとまった歌声に

うっとりしていました。53人が合唱部の練習に取り組んでいるとのことでしたが、合唱をよりよくしていくためにはリズム、音の強弱、音の高さ等を合わせていかなければなりません。53人が周りの友達を

気にかけてながら、自分自身もしっかりと音を発して曲をつくる役割を果たす必要があります。一つにまとまった歌声は、一つにまとまった心から生まれると、私は思います。4年生から6年生の合唱部の皆さん、練習の成果を発揮し、舞台の上で歌声を存分に響かせてください。そして、全校のみなで、これからも歌声が響く学校をつくっていきましょう。



みんなで つくろう いじめのない学校^{がっこう}

昨日^{きのう}の全校集会^{ぜんこうしゅうかい}では、児童委員会^{じどういいんかい}の皆さん^{みな}が「いじめぼくめつ宣言^{せんげん}」を声^{こえ}にして、呼び掛けてくれました。「いじめぼくめつ」とは、「いじめをみんなの手^てで完全^{かんぜん}になくすこと」です。皆^{みな}で、児童委員会^{じどういいんかい}の呼びかけに^よこたえて、

- やめる^{ゆうき}勇気^もを持ちます
- とめる^{ゆうき}勇気^もを持ちます
- 話す^{はな}勇気^{ゆうき}を持ちます
- 認める^{みと}勇気^{ゆうき}を持ちます

と、誓^{ちか}うことができましたね。実際^{じっさい}に何^{なに}をするのかということについては、皆さん^{みな}に話^{はな}した「言葉^{ことば}」を整^{ととの}えることも大切^{たいせつ}です。誰^{だれ}かのことを悪^{わる}く言^いったり、ばかにしたり、らんぼうな言葉^{ことば}を使^{つか}ったりしません。また、普段^{ふだん}の生活^{せいかつ}で意識^{いしき}していないかもしれませんが、絶対^{ぜったい}やってはいけないこと^{ひと}の一つに、うわさを流^{なが}すこと（広^{ひろ}める）こともあります。

友達^{ともだち}や周り^{まわ}の人^{ひと}から聞^きいた話^{はなし}や、たとえ自分^{じぶん}が見^みたり聞^きいたりしたこと^{こと}であっても「あの人^{ひと}は…」という良^よくない話題^{わだい}をだれかに伝^{つた}えてしまうと、取り返^としのつかないこと^{こと}になってしまうこともあります。いじめのない、みんなが安心^{あんしん}して生活^{せいかつ}できるみそら小学校^{しょうがっこう}を、みんなの考^{かんが}える力^{ちから}と心^{こころ}でつくっていきましよう。

